

牛白血病ウイルスから乳牛を守る！

概要 Abstract

ウイルスが原因となる牛白血病の発生が増加しています。

酪農場におけるウイルス伝播防止対策は血中ウイルス量が高いハイリスク牛の優先的淘汰や防虫ネット設置などの吸血昆虫対策が有効です。

*牛白血病ウイルスは人には感染しません。

成果 Results

●牛白血病が発生した酪農場におけるウイルス伝播リスク

	A農場	B農場	C農場	D農場
飼養総頭数	140頭	280頭	290頭	90頭
牛舎形態	フリーストール（放し飼い）			繋ぎ飼い
ウイルス陽性率	57.4%	33.3%	62.2%	11.3%
ウイルス陽転率	24.3%	11.5%	31.2%	0%
ウイルス伝播リスク要因（下線は高リスク要因）				
陽性牛の分離飼育	なし	なし	なし	あり
ハイリスク牛割合	<u>39.5%</u>	4.3%	<u>31.0%</u>	2.1%
放牧	なし	<u>預託牧場</u> 自家放牧	初妊牛 自家放牧	育成/乾乳 自家放牧
吸血昆虫の有無	<u>サシバエ</u>	アブ サシバエ	アブ <u>サシバエ</u>	サシバエ
初乳給与	加温処理	加温処理 初乳製剤	凍結初乳 初乳製剤	<u>生の母乳</u> 凍結初乳

ウイルス陽性率；初回検査時における20カ月齢以上の牛のウイルス陽性率
ウイルス陽転率；初回検査時から1年間にウイルス陰性牛が陽性となった割合

●酪農場における牛白血病ウイルス伝播防止対策

下線が新たに効果が明らかになった対策です

●農場内の感染状況を知る

- ・全頭の血液検査
ウイルス陽性牛の把握
- ★ハイリスク牛の摘発
血中ウイルス量が高い牛

☆新しい陽性牛を増やさない

- 垂直伝播の防止
 - ・初乳の加温処理
 - ・陽性牛から後継牛をとらない

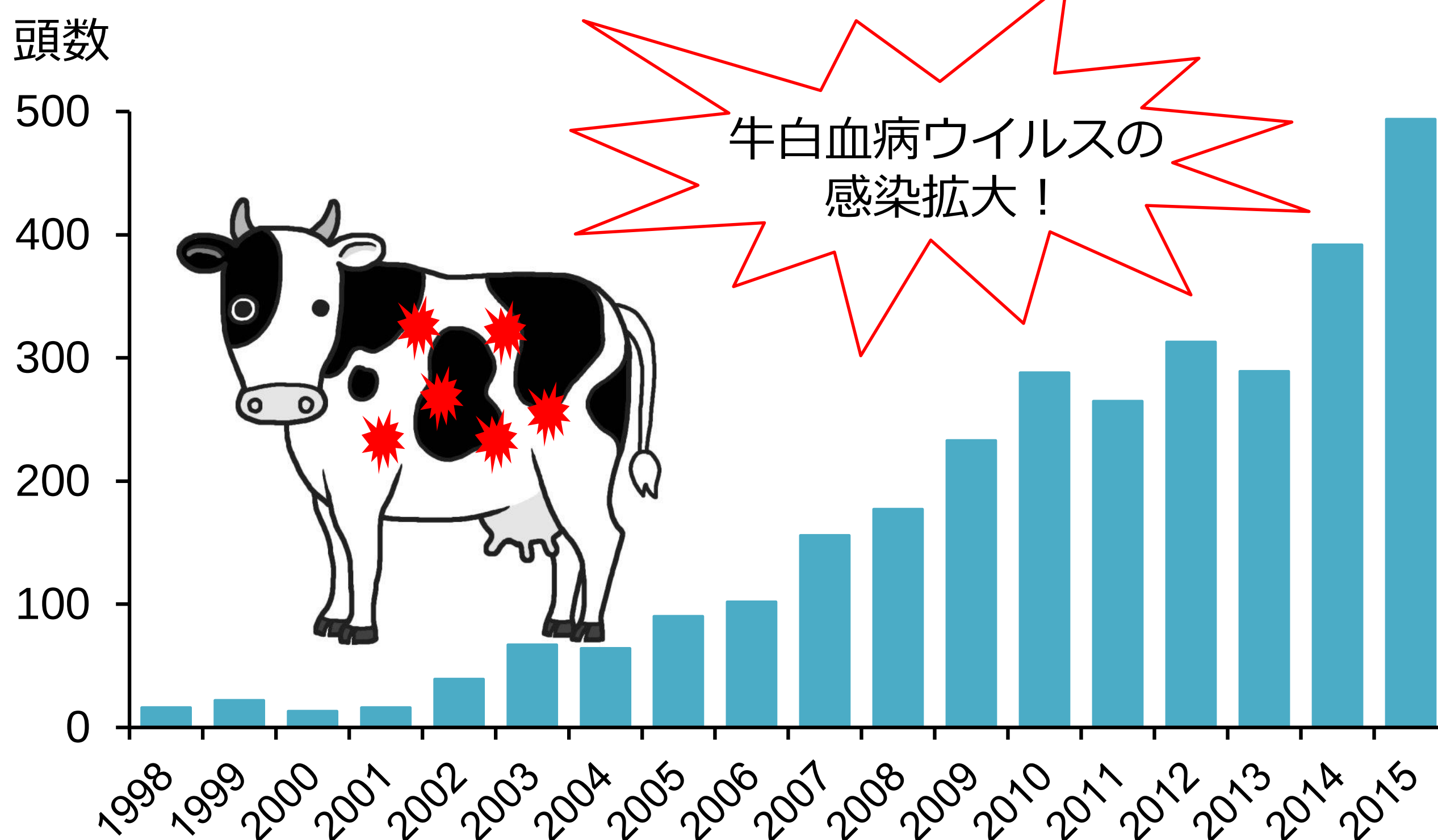
☆陽性牛を減らす

- ・ハイリスク牛の優先的淘汰
- ・ウイルス陽性牛の計画的淘汰

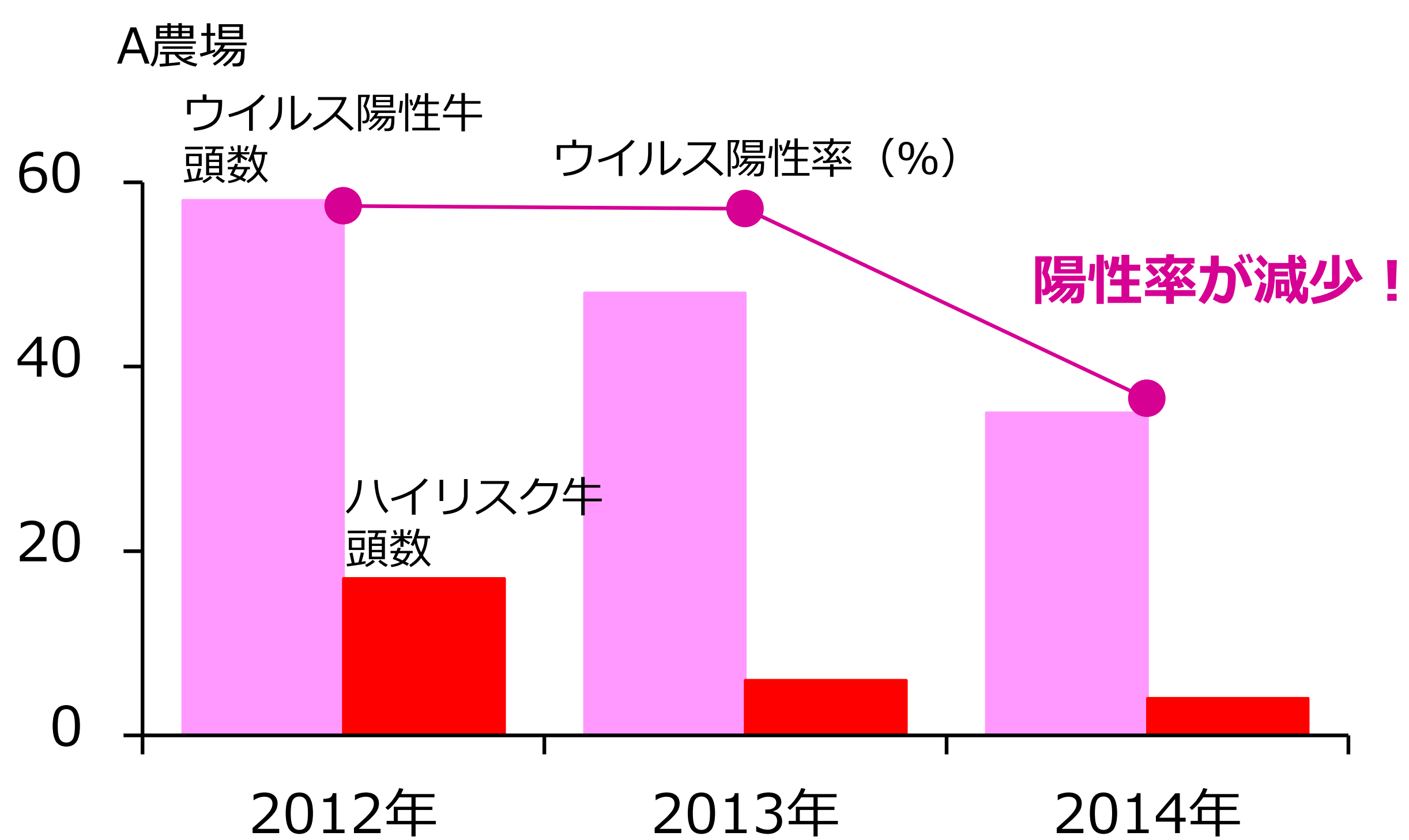
◎農場内の陽転率を下げる！

- 水平伝播の防止
 - ・陽性牛の分離飼育
 - ・注射針・直腸検査手袋を1頭ずつ交換
 - ・除角・削蹄器具の消毒
 - ・吸血昆虫対策
 - ★防虫ネットの設置
忌避剤・薬剤散布

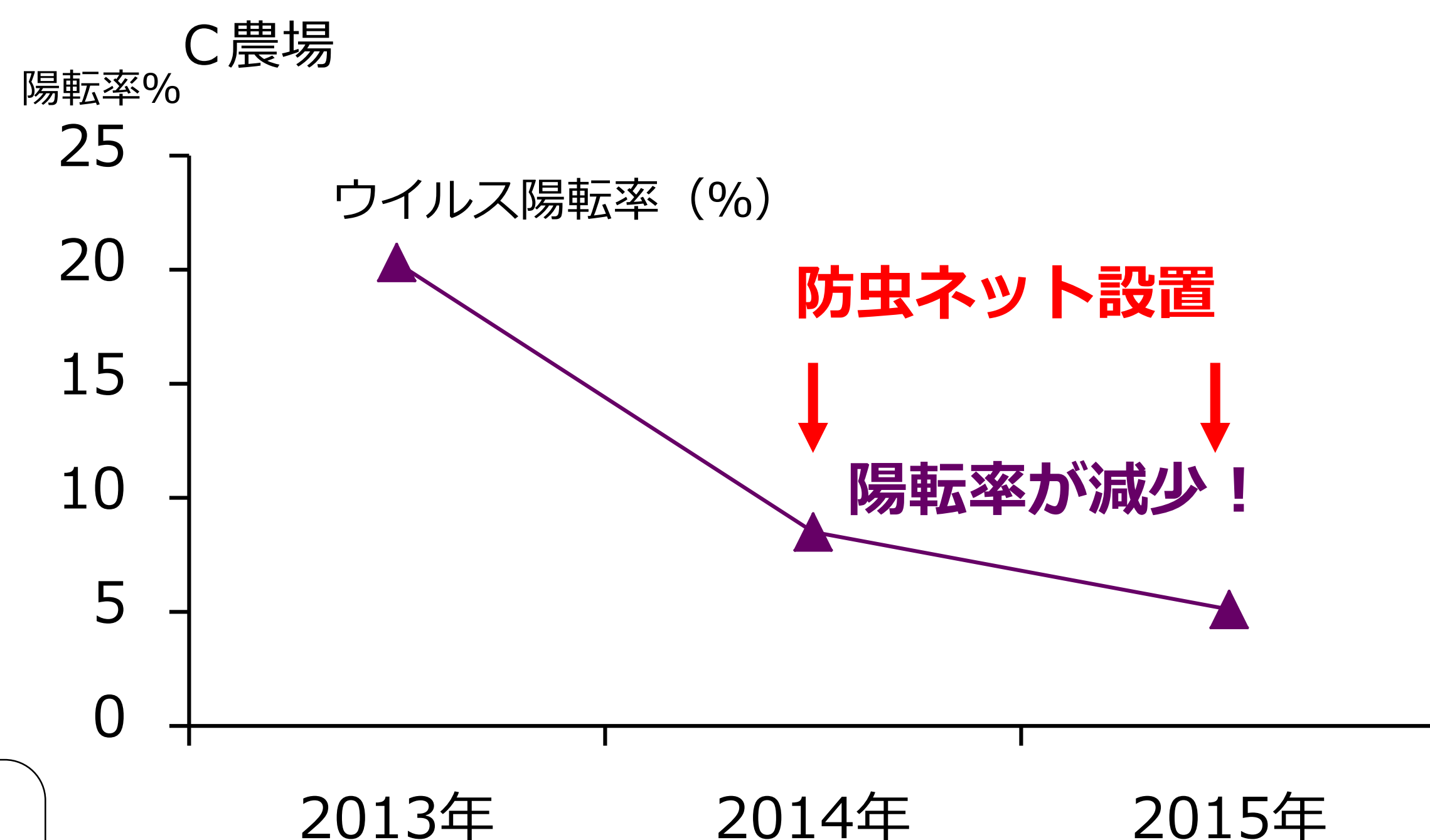
●北海道における牛白血病の発生状況



●ハイリスク牛の優先的淘汰によるウイルス伝播防止効果



●防虫ネットの設置によるウイルス伝播防止効果



普及 Dissemination

牛白血病ウイルス陽性の酪農場でウイルス伝播防止対策に活用します。

連絡先 Contact

畜産試験場
基盤研究部 家畜衛生グループ
0156-64-0615
kohara-junko@hro.or.jp